



令和8年1月30日

保護者の皆様

里浦小学校長 藤長 あかね

令和7年度 学校評価に関するアンケート結果について

大寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、12月に実施いたしました「学校評価に関するアンケート(保護者・児童)」の集計結果をお知らせします。課題等の要因を分析し、次年度の学校経営方針を見直し、児童のよりよい学校生活に帰結できるようにと考えております。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 結果の概要

【保護者アンケート】

肯定的な回答(「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計)が90%を超えているものが30項目中6項目、80%未満のものが8項目でした。特に「19 交通ルールのおしやかし」(95.9%)や「9 積極的に褒める」(95.0%)が極めて高い数値を示しています。一方で、「26 目標をもって生活している」(63.6%)や「10 粘り強く取り組む」(61.6%)は依然として低く、自律性の育成が今後の課題です。加えて、デジタルデバイスの利用ルールが課題として表れています。今後、適切なコミュニケーション方法、情報のリスクなどの情報モラルについても発達段階にあわせた指導を行います。また、項目12にある「自分の身の回りのことは自分でする」なども含め、自律的な生活習慣やルール遵守に関わることにについても、学校と家庭が連携して指導する必要があります。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

○肯定的な回答の割合が高かった項目

19:子どもが交通ルールを守るよう、働きかけている	95.9%
9:子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている	95.0%
30:学校は、子どもの心や自然、命を大切にする教育活動に取り組んでいる	94.0%
27:学校は、里浦ならではの人材や施設、環境を生かした特色ある教育活動を行っている	92.9%
15:子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲良くしている	92.0%

○肯定的な回答の割合が低かった項目

10:子どもは何事にも粘り強く取り組む	61.6%
26:子どもは、目標をもって生活している	63.6%
16:子どもと社会や将来のことを話し合っている	64.6%
12:子どもは、自分の身の回りのことを自分でしている	73.8%
25:私(保護者)は、子どもとルールを決めて、子どもが携帯(SNS)やゲームを長時間しないようにしている	73.8%

【児童アンケート】

肯定的な回答が90%を超えているものが30項目中10項目でした。特に「23 いじめはいけない」(99.1%)や「22 避難訓練への真剣な取り組み」(99.1%)は、命と人権を守る意識の高さを示しています。また、授業への理解度が高い数値を示しています。

○肯定的な回答の割合が高かった項目

22:避難訓練などは、真剣に取り組んでいる	99.1%
23:いじめなどとはどんな理由があってもいけないことだと思う	99.1%
21:事故にあわないよう、いつも気をつけている	96.4%
1:先生は、毎日の授業を分かりやすく教えてくれる	95.6%
16:学級の係や当番の仕事、そうじなどに、積極的に取り組んでいる	92.9%

○肯定的な回答の割合が低かった項目

27:子ども新聞や本をふだんから読んでいる	57.2%
18:地域の行事などに参加している	65.1%
25:立腰をして、姿勢よく学習している	68.8%
13:身の回りの整頓は、自分でできている	75.9%
14:朝は、決まった時間に起きている	75.9%

読書習慣や地域の活動への参加等が課題として見られます。また、項目13と14は同率(75.9%)ですが、いずれも基本的な生活習慣の確立に課題があることが示されています。

2. 学校経営基本方針とのつながりについて

(1) 人権尊重の精神と豊かな心の育成

- ・ 「楽しい学校づくり」とスローガン「笑顔いっぱいみんなで創る楽しい学校」の達成度

R7学校スローガン「笑顔いっぱい みんなで創る楽しい学校」に対し、児童の83.1%が「学校へ行くのが楽しい」、保護者の83.8%が「子どもは楽しんで学校に行っている」と回答しています。前年度のR6考察でも「楽しい学校」については高く評価されていましたが、引き続き8割以上の肯定的な評価を維持しています。

- ・ 自尊感情の醸成とPBS（ポジティブ行動支援）の推進

経営方針の重点項目である「自尊感情の醸成」に関わり、児童の83.9%が「自分にはよいところがある」と回答しています。保護者の95.0%が「積極的に褒めている」と回答しており、学校経営方針にある「称賛をベースとした働きかけ」が家庭でも広く実践されていることが伺えます。

(2) 確かな学力育成と体力の向上

- ・ 「わかる授業」と教育DXの推進

経営方針で掲げる「個別最適な学びと協働的な学び」に関し、児童の95.6%が「先生の授業は分かりやすい」と回答し、87.5%が「グループ学習が好き」、92.0%が「ICT活用が好き」としています。保護者の84.9%が授業改善への取り組みを肯定しており、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育活動への一定の評価をいただいています。今年度は第2回の教育DX推進事業公開授業を保護者の皆様にもご覧いただきました。次年度以降も学校の取組を知っていただく機会を設けながら、児童の学習意欲の向上と学力向上に向けてさらに授業改善に努めてまいります。

- ・ 学習習慣の確立と自律性への課題

児童の92.8%が「宿題をきちんとしている」とする一方、保護者の評価は78.7%に留まります。また、スローガンのサブタイトル「気づき、考え、行動しよう」の指標となる「目標をもって生活している」児童は88.4%ですが、保護者の視点（63.6%）では低く、自己管理能力の育成が課題となります。学校では、自分で目標を決めて学習することができる授業づくりに努めてまいります。ご家庭におかれましても、学習の意義や将来の目標等についてお子様とじっくり話す時間をつくるなど、ご協力いただきますようお願いします。

- ・ 体力の向上

「進んで運動し体力づくりをしている」と回答した児童は合計で79.5%（よく：50.9%、やや：28.6%）でした。約8割の児童が主体的に体力づくりに取り組んでいると回答しています。保護者アンケートでは、「学校は子どもの体力作りに取り組み、効果を上げている」との評価が78.8%（よく：23.2%、やや：55.6%）となっています。他の項目（安全指導など）に比べると、さらなる充実を期待する余地がある数値と言えます。今後、学校全体で協議し、児童の体力づくりに資する取組を検討し実施してまいります。

(3) 命を守る教育の充実

- ・ 防災・安全意識の定着

経営方針の柱である「防災・安全教育の充実」は、児童の避難訓練への真剣な取組（99.1％）や、保護者の交通ルール指導（95.9％）に顕著に表れています。家庭での防災に関する話し合いも75.8％の保護者が実施しており、「自分の命は自分で守る」意識が児童に浸透しつつあります。

(4) 郷土愛を育む教育の充実

- ・ ふるさと「里浦町」への愛情と誇り

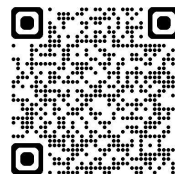
経営方針にある「地域と連携した教育活動」により、児童の91.9％が「里浦町が好きだ」と回答しています。保護者の92.9％に「里浦ならではの特色ある教育を行っている」と評価されており、特産物を活用した体験学習や地域住民との交流が、郷土愛の育成に寄与していると言えます。

今後の方向性

R7学校経営方針の達成に向け、「わかる授業」や「安全・郷土愛」の面では高い成果が得られています。今後は、アンケートで相対的に低かった「粘り強い取り組み」や「目標設定」「SNS等の利用ルール遵守」について、学校と家庭がより具体的に連携していければと考えます。

今後も、本校の教育活動に対するご意見や取組のアイデア等を保護者や地域の皆様からいただけますと幸いです。

なお、学校評価アンケート（児童・保護者）全データについては、里浦小学校ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



ホームページ QR コード